

八並誠一 詩人、小説家。明治四十一年十月十六日北海道札幌  
 生まれ、昭和四十五年十一月十七日歿（一九八一七〇）。筆名八木桂一、杉  
 狂犬、横谷利信、野方八郎。昭和四年岩手師範學校第二部卒。爾來教  
 職の傍ら小説等々『岩手日報』に發表。六年上京して神田區七之由神田  
 小學校教員となる。翌年雜誌『小説派』同人、十五年二月岸丈夫、奈知  
 安太郎と季刊雜誌『ゆびごころ』創刊、八月には同人雜誌『大鶴』を  
 主導して創刊。その後に小説、隨筆等々各誌に發表。戦後は神田區  
 教職員組合の初代委員長として教育界に活動する一方、主として詩作に傾  
 き、『千禧年活』（昭和二十五年刊）、『鷹クリスマスの夜』（昭和  
 二十三年刊）、『ゲロ伯爵伝』（昭和二十八年刊）、『告知』（昭和  
 四十四年刊）の四詩集を出版した。

歿後の『ゲロ伯爵伝』（八並誠一作品集刊行会編、昭和四十七年七月  
 二十日）と文学草紙社（こは）詩篇の他、小説九篇、隨筆、年譜を収録。



八並誠一作品集  
 ゲロ伯爵伝

